



最上町立大堀小学校
学校だより R7 第11号
令和8年1月20日 校長室
大堀小学校
ホームページ



「未来は変えられる」新しい自分へ踏み出す時

2026年が明けました。午（うま）年は、「飛躍・挑戦の年」といわれるのだそうです。始業式では、大堀小学校の一人一人が、「なりたい自分」に近づくことを願って、以下のような話をしました。



新年にあたり、「未来は、変えられる」という話をします。過去を変えることができませんが、未来は、皆さんのがんばりと努力で変えることができるのです。

「一年の計は、元旦にあり」ということわざを知っていますか。「一年の計画は、年の初めである元旦に、きちんと立てることが大切である」という意味です。「今年の目標、がんばること」をしっかりと決めて、計画を立ててください。そして、目の前の勉強や仕事は、心を込めて、一つ一つ丁寧にやり遂げていきましょう。それが、目標に近づき、目標を達成すること、未来を変えることにつながります。

「一年の計は、元旦にあり」は、戦国時代の武将である毛利元就の言葉とされていますが、続きがありますので、紹介します。「一月の計は、一日にあり」「一日の計は、早朝にあり」。これは、一年も、一月も、一日も、スタートが大切だということを教えてくれています。「なりたい自分」に近づくために、今的新鮮な気持ちを大事にして、しっかり目標を見据え、目の前のことに全力で取り組んでいきましょう。

新春の空気に包まれた「書き初め会」

1月8日（木）に、「校内書き初め会」を行いました。1・2年生はフェルトペンを使い、3～6年生は毛筆で取り組みました。真剣なまなざしで筆を走らせる子どもたちの姿からは、文字に込めた思いや集中する心の力強さが感じられました。

冬の静かな教室に響く筆の音と、子どもたちの真剣な表情が、新春の空気をさらに清々しくしてくれるひとときとなりました。



世代をつなぐあたたかい学び 昔語りとだんごさし

12月16日（火）と17日（水）の両日、「とんと昔この会」の方々をお迎えし、昔語りをしていただきました。やさしい方言に包まれた語り口は、囲炉裏端に集まって耳を傾けているような温かさがありました。児童は、登場人物のユーモラスなやりとりや、不思議な出来事に目を輝かせながら聞き入っていました。



地域に受け継がれてきた昔話は、児童にとって新鮮でありながら、どこか懐かしい響きを持って心に残ったようです。方言のあたたかさと物語の面白さを通して、地域の文化の豊かさを改めて感じるひとときとなりました。



また、1月14日（水）には、1・2年生が、白川端老人クラブ、風っ子応援団の皆さんと一緒に「だんごさし」の行事を体験しました。「だんごさし」は、紅白の餅や鯛、小判などをミズキに飾り付け、五穀豊穣や交通安全、家族の健康などを祈る伝統行事です。児童は作り方や意味を教えていただきながら、楽しそうに交流を深めていました。出来上がった枝は、まるで花が咲いたように華やかで、玄関ホールいっぱいに温かな雰囲気が広がりました。

今回の行事を通して、地域の伝統文化に触れるとともに、世代を超えた交流の大切さを感じることができました。これからも地域の皆さんと力を合わせ、児童の成長を支えていきたいと思います。

風っ子の活躍 入賞おめでとうございます！

第40回 WE LOVE トンボ絵画コンクール

銅賞 5年 S・E



令和7年度 いじめ・非行をなくそう やまがた県民運動 標語の部

優良賞 3年 S・K

令和7年度 読書感想画コンクール 最上地区審査

佳作賞 2年 T・N

<2月の主な予定>

※ 下校時刻については、下校時刻表等で確認してください。

2日（月）低学年スキー学習 3日（火）高学年スキー学習・6年校外学習 4日（水）中学年スキー学習

6日（金）低学年スキー学習・授業参観・学級懇談・メディアコントロール（～12日）

9日（月）高学年スキー学習 13日（金）新入生一日入学

16日（月）中学年スキー学習・学校運営協議会 17日（火）低学年スキー学習

20日（金）6年生を送る会・職員会議・校内研修全体会

26日（木）オーストラリア交流（リモート） 27日（金）児童会引継会

